

なぜDXが必要なのか？

人事労務業務をまるごとデジタル化する

奉行クラウドHRDX Suite 導入効果と強み

2025年には超高齢社会へ突入し、数百万規模の人材不足が起こると予想されています。人事労務業務のDX化・ペーパーレス化は、限られた人材リソースを最大限活用し、大きな成果を生み出す体制作りには欠かせません。

本セミナーでは、なぜDXが必要なのか？という背景から、人事労務業務のDXを具体的に実現するサービス「奉行クラウドHRDX Suite」による人事労務業務の未来をご覧ください。

開催日時

8/24 (水) 9/08 (木) 9/20 (火) 10/06 (木)

第1部 10:00～10:40
第2部 13:30～14:10

※ 全日程同じ内容となります。

お申込み



こちらのお申し込みサイトから、
ご希望の日程を選択してお申し込みください。

<https://www.obc.co.jp/landing/sem-jinjiromu-dx>



対象業務

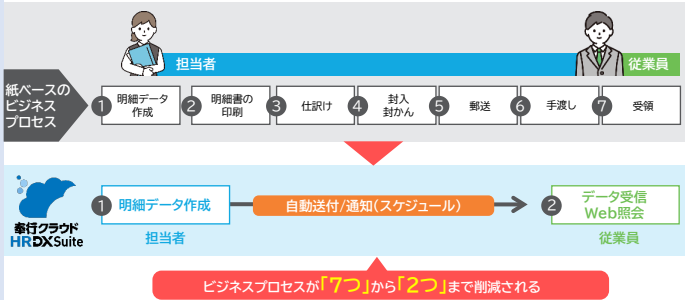
- 給与・年末調整関連
- 身上異動関連
- マイナンバー管理
- 人事情報管理
- 採用・労働契約関連

1 70にわたる総務・人事・労務業務を最適化してDXへ

ベストプラクティスでビジネスプロセスが確実に変わる

奉行クラウドHR DX Suiteは、70の業務でベストプラクティスを提供します。担当者だけでなく従業員を含めたビジネスプロセスが変わり、企業全体で大幅な業務時間の削減が見込めます。

ビジネスプロセスの削減 (給与明細書の配付業務の場合)



時間・コストの削減

DXによるビジネスプロセスの削減で、時間とコストを大幅に削減できます。また、バックオフィス業務はどれだけプロセスを削減しても得られる結果は変わらないため、必ず生産性向上につながります。



※OBC調べ 従業員100人規模、毎月1名中途入社があり、労務担当者1名の場合
※人件費・時給1,800円で算出

2 人事労務書類のペーパーレス化で従業員満足度を向上

バックオフィス業務に対する従業員の負担を軽減

給与明細書や身上異動届など、従業員の受け取り・提出が必要となるあらゆる書類をペーパーレス化します。従業員はバックオフィス業務のための出社や移動が無くなり、本業に集中できる環境が整います。

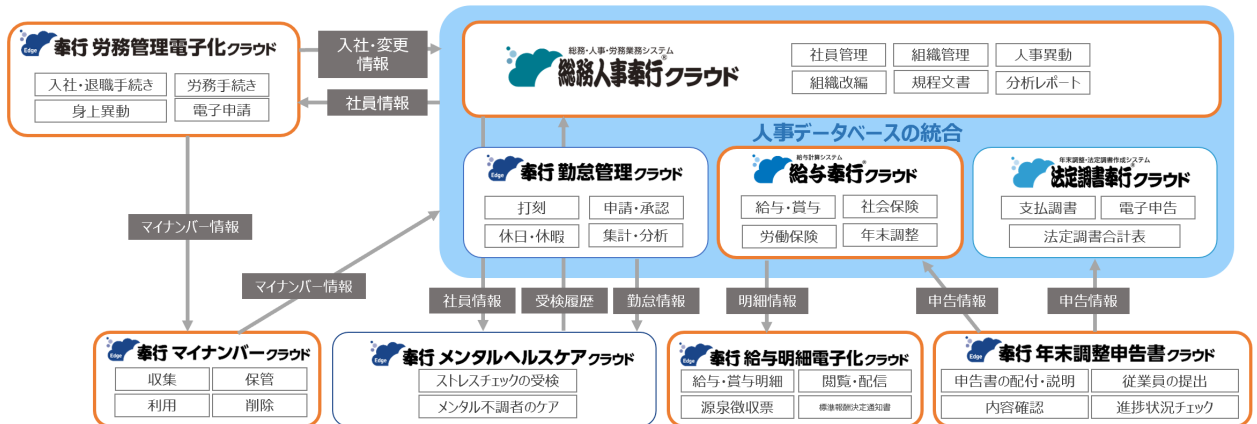
いつでもどこでも業務ができる

従業員は、スマートフォンやパソコンから人事労務手続きや年末調整申告書の提出などができるようになるため、自宅や外出先などいつでもどこでも手続きができます。紙の印刷や提出のための移動・出社が必要なくなるため、最小限の時間で手続きが完了し、より一層本業に集中できるようになります。



3 奉行クラウド HR DX Suite の全体像

従業員から収集した最新の人事情報がつながりあらゆる業務で活用できます。また、従業員はいつでもどこでも業務ができるようになり、経営は人材戦略に必要な人事データをすぐに活用できるようになります。



価格

プラン1
月額利用料 (1人当たり) 800円

※給与奉行クラウド付属モデルの価格です
※ご利用時は年間契約となります
※詳細はお問い合わせください

この価格で、
労務手続き・給与計算・給与明細配信・年末調整申告書の収集
マイナンバー管理・人事情報管理 がすべて実現出来ます！